



りゅうおう

議会だより

No. 147
2009.5.1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713(直通) (有)58-3713

苗村神社例大祭



●
主
な
記
事
●

第1回(3月)定例会

- 平成21年度予算.....P2~4
- 条例関係・補正予算・意見書など.....P5~7
- 一般質問.....P8~13
- 委員会報告.....P14~16
- 議会傍聴記・編集後記.....P16

平成21年第1回定例会は3月3日から3月24日までの日程で開催されました。

平成21年度予算
条例改正
一般会計補正など

町民の目線にたった 住民本位の施策を 具体化！

32億5113万1千円 (対前年1.8減)

平成21年第一回定例会は、3月3日から24日までの22日間の会期で開催された。平成21年度一般会計予算および8特別会計予算が提案され、一般会計は予算第一特別委員会に、また特別会計は予算第二特別委員会に審査を付託され、3月24日の本会議で可決決定された。

報告 予算第一特別委員会 委員長 蔵口嘉寿男

平成21年度予算は、法人町民税の大幅な減収により財源不足を補うために、財政調整基金からの繰入、および町債の発行を増額するなど厳しい状態となっており、予算総額も前年度に比較して0.5%の減となっています。なお、5年連続で普通

交付税不交付団体となる見込みです。「夢と安らぎのあるまちづくり」を推進するため、福祉医療等の住民生活に直結するサービス低下をもたらす見直しは行わず、また平成20年度より交付金事業によるタウンセンター整備や道路整備、小学校校内LANの

整備、消防防災施設整備等を緊急性や次世代育成に配慮して実施するとしています。

主な質疑応答

問 町内大手企業の税収見込みはどうか。

答 前年度より業績が40%の減と予測されていることから、法人町民税を2億5000万円、固定資産税を11億5000万

円と合せて13億5500万円を見込んでいます。

主な意見

・滞納整理に努力されているが、過年度の町民税および固定資産税の未納額が約7690万円をかかえており、さらなる未納額の縮小に努力されたい。

・（仮称）三井アウトレットパーク滋賀竜王」の開業や今後の交通需要に対応する名神高速道路や幹線道路の交通体系の整備計画と地域産業の振興を最重要課題として、町主導で早急に計画立案をするとともに、事業推進をはかられたい。

・現今の厳しい財政運営が続く中、町民の暮らしや安全を守る施策は必要不可欠であり、そのためにも行財政改革を確実に実施されたい。

・町内大手企業の経営の推移による今後の税収減が懸念されるところであり、情報の収集と所要の緊急対策も含めて町行財政の運営に最善の努力をされたい。

報告 予算第二特別委員会 委員長 山添 勝之

本委員会は3月16日、17日の2日間にわたり平成21年度竜王町特別会計予算8議案の審査を行いました。

主な質疑応答は次の通りです。

◎国保事業（事業勘定）
問 他会計繰入金が2000万円の減となっているのはなぜか。

答 平成20年度、21年度で国保税率の引き上げをしました。平成20年度に激変緩和措置として一般会計から2000万円の繰入を行った上での税率改正となり、21年度には2年目となることから一般会計からの繰り入れは無いことから2000万円の減となりました。

賛成多数で可決

◎国保事業（施設勘定）
問 診療所医師の午後の対応は。

答 万葉の里や、予防注射など活躍いただいております。

全員賛成で可決

◎老人保健医療事業
問 月遅れ、過誤返戻の請求は有るのか。

賛成多数で可決

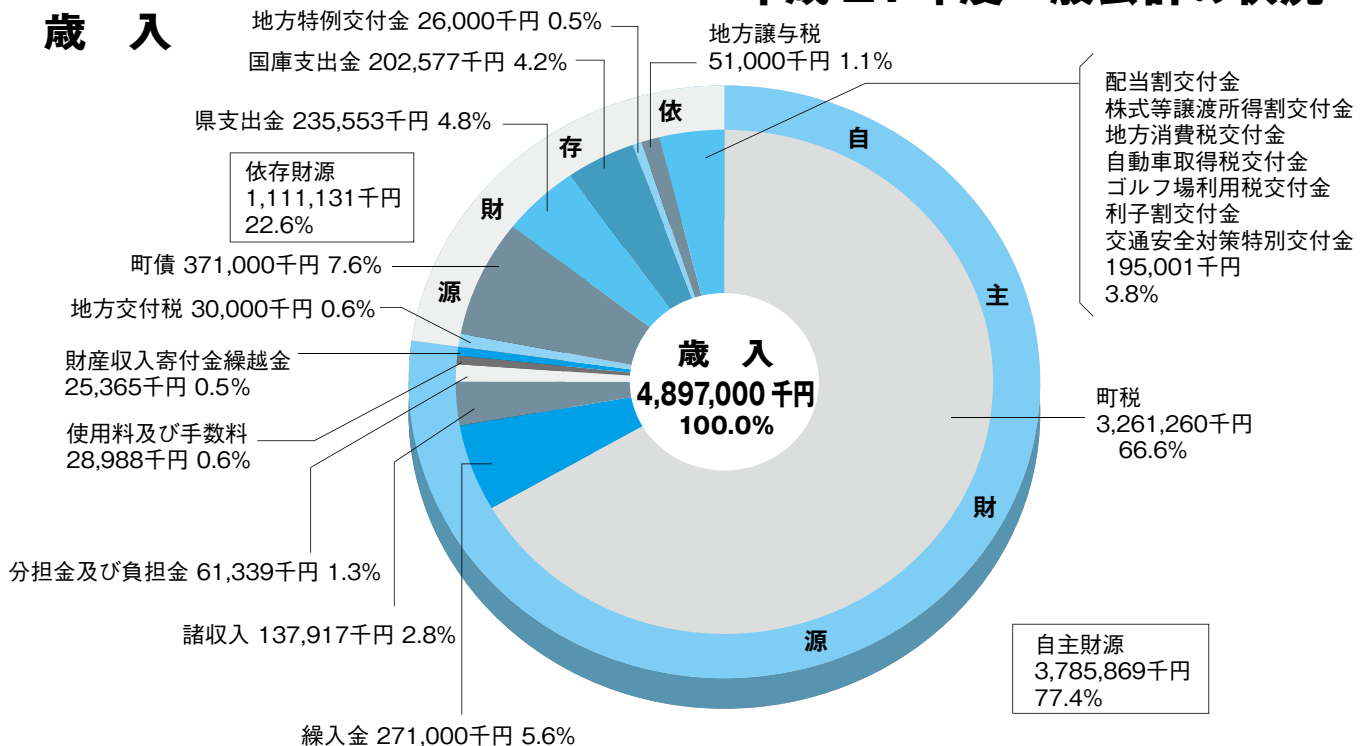
平成21年度予算 未来に羽ばたく 夢と安らぎのある

まちづくり

一般会計予算 48億9700万円 (対前年0.5%減)

特別会計予算

平成21年度一般会計の状況



平成21年度 特別会計決算状況

会 計 名		予算額 (万円)	前年度比較	
			増減額 (万円)	増減率 (%)
国民健康保険事業（事業勘定）		8 億 8,600	1,100	1.3
国民健康保険事業 （施設勘定）	医 科	8,600	400	4.9
	歯 科	5,500	△ 200	△ 3.5
老 人 保 健 医 療 事 業		700	△ 1 億 2,800	△ 94.8
学 校 給 食 事 業		6,200	500	8.8
下 水 道 事 業		7 億 2,400	△ 3 億 2,700	△ 31.1
介 護 保 險		5 億 3,900	800	1.5
後 期 高 齡 者 医 療		7,900	△ 1,200	△ 13.2
水 道 事 業	収益の支出	3 億	0	0
	資本の支出	5 億 1,313	3 億 8,117	288.9

答 診療報酬請求は2年の請求権があります。
全員賛成で可決

問 学校給食事業
給食費負担金は誰が決定するのか。
答 給食運営委員会が答申し教育委員会が定めます。
賛成多数で可決

問 ◎下水道事業
借入金の起債残高は。
答 財政融資資金と地方公営企業等金融機構を合わせて59債券で金額は5億4617万5千円です。
全員賛成で可決

問 ◎介護保険
居宅改修支援事業とは。
答 トイレの段差を無くす等の改修が必要となった場合一人に付、20万円の9割を限度に支給します。
賛成多数で可決

問 ◎後期高齢者医療
保険料軽減分を全て一般会計で負担するのか。
答 県負担分を一般会計で受けるためです。
賛成多数で可決

問 ◎水道事業
県水の責任水量が未達成であるのになぜ既存のポンプを稼働させているのか。
答 非常時対応のためです。
賛成多数で可決

平成21年度

主要事業の概要

「安心して暮らせる舞台づくり」

・道路照明灯、路面標示、交通安全施設設置工事	200万円
・橋梁点検調査業務	540万円
・消防ポンプ自動車購入2台	3705万円
・小型動力ポンプ4台	525万円
・地域防災訓練資材費	63万円
・非常用食料品・水・資材を整備	130万円

「快適でうるおいのある生活環境づくり」

・自ら考え自ら行うまちづくり事業	940万円
・コミュニティ助成事業	490万円
・篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会負担金・事業負担金	352万9千円
・地籍調査事業費	184万7千円
・生活交通路線維持費補助金、コミュニティバス運行委託補助金	923万円
・浄化槽設置事業	260万3千円
・ごみ減量化推進事業	85万円
・道路橋梁維持補修費	2925万8千円
・町単独道路橋梁改良工事	1000万円
・河川環境美化事業	330万円
・都市計画定期見直し業務	526万2千円
・まちづくり交付金事業	1億1620万9千円

「活力と交流を生むたくましい産業づくり」

・まちづくり見聞特派員レポート事業	45万円
-------------------	------

・土産土法ビジネスサポート事業	500万円
・農林公園施設管理事業	1149万2千円
・農地・水・環境保全向上対策事業	1569万2千円

・小口簡易資金融資事業	649万9千円
・着地型旅行観光活性化プロジェクト事業	310万7千円

・ふるさと竜王夏まつり実行委員会補助	250万円
--------------------	-------

「いきいき暮らせる健康・福祉づくり」

・地域生活支援事業	1241万円
・障害者自立支援緊急特別対策事業	438万7千円
・社会参加促進助成事業	485万円
・障害児地域活動支援事業	396万8千円
・通所支援事業	693万8千円
・敬老のつどい開催事業	251万8千円
・介護予防事業	163万8千円
・生活支援事業	461万9千円
・福祉医療費助成事業	1億2050万1千円
・心身障害児通園事業	369万3千円
・放課後児童健全育成事業	1119万8千円
・福祉年金支給事業	395万1千円
・発達支援事業	35万円

・児童環境づくり基盤整備事業	248万9千円
・少子化対策・子育て支援事業	1123万円
・要保護児童対策地域協議会事業	54万4千円
・母子保健事業	806万4千円
・試行的預かり保育事業	400万6千円

「新しい時代を拓く魅力ある場づくり人づくり」

・中学生海外派遣研修事業	266万7千円
・小学生地域間交流受入事業	20万2千円

・児童・生徒教育相談カウンセラー設置事業	74万1千円
----------------------	--------

・心のオアシス相談員派遣事業	100万円
・竜王小学校施設整備事業	990万5千円
・竜王西小学校施設整備事業	601万6千円
・小学校教育用コンピュータ整備事業	835万3千円
・小学校、中学校学力向上推進事業	32万3千円
・中学校施設整備事業	381万6千円
・中学校コンピュータ整備事業	390万4千円
・社会教育関係団体補助事業	446万9千円
・豊かな体験活動促進事業	65万7千円
・地域子ども教室推進事業	102万3千円
・図書館図書購入	661万円
・生涯スポーツ推進事業	248万8千円

「生活を高める個性豊かな薫り高い文化づくり」

・ふるさと文化振興事業	123万5千円
・公民館教室・講座開設事業	249万2千円
・文化財保存活動事業	208万7千円
・文化財普及啓発事業	268万2千円

「行財政改革をすすめる揺るぎない町づくり」

・基幹系システム開発・管理事業	4385万6千円
・情報系システム開発・管理事業	1664万7千円
・地域創造まちづくり事業	172万円
・第5次総合計画策定事業	508万円

その他

・公用自動車購入事業	289万5千円
・選挙管理委員会運営費	194万5千円
・衆議院議員選挙費	976万5千円

3月定例会

付託案件

総務産業建設常任委員会

委員長 山田 義明

教育民生常任委員会

委員長 岡司 重夫

◎竜王町特別職の職員で常勤のものの報酬および旅費に関する条例および竜王町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

平成21年4月分より2年間、町長の給料月額について100分の10に相当する額、副町長の給料月額については100分の5に相当する額を、教育長についても100分の5に相当する額を減じるものです。

全員賛成で可決

◎竜王町薬師地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

薬師地区の一部の地域が都市計画決定されたことから、建築物の用途の混在化を防止した良好な近隣商業地区を形成するために条例制定するものです。

全員賛成で可決

◎平成20年度竜王町一般会計補正予算(第7号)

3億9900万円を追加し予算の総額を60億円に改めるものです。主な歳入は定額給付金事業費、国庫補助金、固定資産税、個人町民税等の増額と法人町民税の減額です。主な歳出は定額給付金事業、土地開発・地域福祉基金繰出金(繰替運用分)、財政調整基金積立金、道路交通体系基盤調査業務委託料です。

全員賛成で可決

◎平成20年度竜王町下水道事業特別会計補正予算(第4号)

841万4千円を減額し、予算の総額を10億4617万4千円に改めると共に、繰越明許費として特定環境保全公共下水道事業費7465万2千円と、地方債補正で琵琶湖流域下水事業債200万円を起債するものです。

全員賛成で可決

◎竜王町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険事業は3年毎に見直しを含め計画策定を行うことから、平成21年度から23年度の第4期における介護保険料を基準額で年額4万200円と決定し、保険料率を各区分毎に改めるものです。

主な質疑応答は

問 介護保険の被保険者は何人おられるのか

答 特別徴収で2260名、普通徴収で148名です。直納の徴収率は99・4%です。

全員賛成で可決

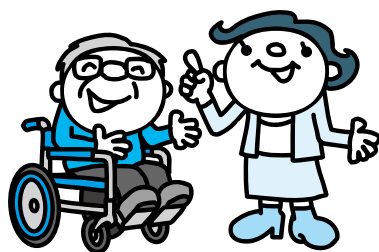
◎竜王町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例

介護従事者の処遇改善を図るため平成21年度に介護報酬の改定が行われることに伴い、介護保険料の急激な上昇を抑制するため、国より介護従事者処遇改善臨時特例交付

金が交付されます。

この交付金は、平成20年度中に交付されるため、今年度中に基金を設置し、その取り崩しにより介護保険料軽減のための財源や広報啓発にあてます。

全員賛成で可決



養費、出産育児一時金の増額等によるものです。

主な質疑応答は

問 特定健診の受診状況はどれくらいか

答 40歳から74歳までの対象者1948人のうち627人で受診率32・18%です。

全員賛成で可決

◎平成20年度竜王町後期高齢者医療特別会計

既決予算から歳入歳出それぞれ2416万円を減額し、予算の総額を6983万3千円に改めるものです。

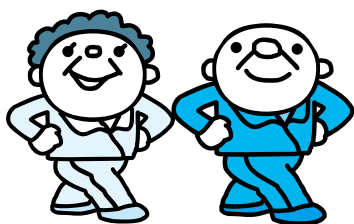
低所得者層への保険料の軽減見直しがなされた結果、減額となりました。

全員賛成で可決

◎平成20年度竜王町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)

既決予算に歳入歳出それぞれ7160万円を追加し、予算の総額を9億8504万円に改めるものです。

一般被保険者療養給付費、一般被保険者高額療



その他の条例改正・補正予算の主なもの（即決議案）

《条例改正》

◎竜王町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

・人事院勧告を受け、一般職員の勤務時間、休暇等に関する法律の一部を改正する法律が公布され

1週間あたりの勤務時間を40時間から38時間45分に改正するものです。

全員賛成で可決

◎竜王町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

・竜王町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例に関連し、育児短時間勤務職員の1週間の勤務時間を20時間、24時間または25時間を19時間25分、19時間35分、23時間15分及び24時間35分に改めるものです。

全員賛成で可決

◎竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

・竜王町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正することから、時間外手当については8時間を超えた場合に支給されていたものを、7時間45分に改めるものです。

全員賛成で可決

◎竜王町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

・近隣市町の状況やその職務状況等を勘案し、監査委員報酬の増額改訂を行うものです。識見を有する者のうちから選任される監査委員の報酬について、月額2万5500円を月額5万5000円に、議員のうちから選任される監査委員の報酬について月額1万8400円を2万1600円にそれぞれ増額するものです。

賛成多数で可決

◎竜王町特別職の職員で常勤の者の給与および旅費に関する条例および竜王町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

・今日の経済危機を迎え、町長就任前に掲げた公約である町の起債を早期に返済し健全な財政の姿に戻す事が困難な状況になり、行政経営者としてのけじめとして、給料月額のうち町長の給料月額については100分の10、副町長については100分の5、教育長については100分の5に相当する額を減じるものです。

全員賛成で可決

◎竜王町手数料徴収条例の一部を改正する条例

・特定家庭用機器廃棄物の適正な処理および資源の有効な利用を一層推進するために、政令に特定家庭用機器の追加が行われたことにより、特定家庭用機器の収集運搬の項

にテレビブラウン管式をテレビジョン受信機ブラウン管式・液晶式・プラズマ式に、洗濯機を電気洗濯機および衣類乾燥機に改めるものです。

全員賛成で可決

◎竜王町学校給食センターの設置、管理および職員に関する条例の一部を改正する条例

・学校給食法の一部改正により、条項に条ずれが生じたことから一部を改正するものです。

全員賛成で可決

◎竜王町介護保険条例の一部を改正する条例

・介護保険事業は、3年を1期として計画を定めることと規定されていることから、見直しを含め第4期の計画策定を行い、介護従事者の処遇改善を図るための介護報酬の引き上げが主な内容です。第4期における介護保険料を基準額で年額4万200円と決定し、条例第9条の保険料率を各区分ごとに改正するものです。合せて条ずれ改正を

行うものです。

全員賛成で可決

◎竜王町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例

・介護従事者の処遇改善を図るために「介護従事者処遇改善臨時特例交付金」が交付されることとなり、その受け皿として基金を設置するものです。

全員賛成で可決

◎竜王町介護予防支援事業所の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例

・介護保険法が一部改正されたことにより、条例の条項に条ずれが生じたため改正するものです。

全員賛成で可決

◎竜王町企業誘致特別措置に関する条例の一部を改正する条例

・統計法の施行期日を定める政令が交付され、付則により統計調査に用いる産業分類並びに疾病、傷害および死因分類を定める政令が廃止されたため、条例の根拠法令を統計法に改めるものです。

全員賛成で可決

◎竜王町農村女性の家の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例

・地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の採択を受け、内装改修工事を行い1階および2階をワンフロアとし、1階を農産加工実習室、2階を研修室に改正するものです。

全員賛成で可決

◎竜王町薬師地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

第一回臨時議会

去る1月30日、平成21年第一回臨時議会が開催されました。

一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件が上程され、審議の結果、いずれも全員賛成で原案通り可決されました。

◎平成20年度竜王町一般会計補正予算（第6号）

既決予算に歳入歳出それぞれ3億8000万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ56億100万円に改めるものです。

- 補正予算の主なものは、歳入では
 - ・前年度繰越金 1億6930万4千円
 - ・まちづくり交付金（国庫） 9879万9千円
- 歳出では
 - ・庁舎南側の公用車庫修繕工事 1000万円
 - ・まちづくり交付金 関連事業用地買収費 2682万2千円
 - ・公民館コンバージョン実施設計業務委託料 1040万円

【内訳として、社会体育施設（武道交流会館）建

設事業9587万1千円、公民館整備事業757万3千円のそれぞれ増額、総合運動公園整備事業200万円、道路新設改良事業168万5千円のそれぞれ減額】

◎平成20年度竜王町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

既決予算に歳入歳出それぞれ299万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9399万3千円に改めるものです。

- 補正予算の主なものは、歳入では
 - ・国庫補助金として高齢者医療制度円滑運営費補助金が299万3千円
- 歳出では
 - ・総務管理費として、高齢者医療制度システム変更委託料299万3千円です。

意見書 第1号

◎ヒブワクチンの早期定期接種化と公的補助を求める意見書

次のような意見書を関係大臣宛へ提出することを決めました。

全員賛成で可決

日本国内で細菌性髄膜炎にかかる子どもは、年間約千人近くにのぼり、そのうち5%が死亡し、約20%が後遺症に苦しんでいます。

細菌性髄膜炎になる原因の一つは、b型のインフルエンザ菌（ヒブ）で、ヒブワクチン接種によって予防できますが、日本では、ヒブワクチンの定期的な予防接種は行われていません。定期予防接種はアジア諸国など百力国近い国で行われており、安全性・有効性は明らかです。

日本でもヒブワクチンが平成19年1月に承認されましたが、予防接種法の定期接種対象疾患に位置付けられていないことから任意の接種となっています。

また、細菌性髄膜炎の発症は5才未満、特に乳児に多いため、ヒブワクチンの接種は生後2ヶ月以上7ヶ月未満の間に3回、1年後にもう1回、計4回の接種が望ましいとされていて、4回の接種の費用負担は約3万円となり、負担の軽減を求める声があります。

鹿児島市では自治体単独で、いち早く補助制度を作り喜ばれていますが、国の制度としてこのような補助制度の創設が待たれています。

以上のことから、下記の項目について早期実現されるよう強く要望します。

記

1. 細菌性髄膜炎を予防接種法による定期接種対象疾患（一類疾病）に位置付けること。
 2. ヒブワクチン接種にかかる費用を全額公費負担とされること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成21年3月24日

滋賀県蒲生郡竜王町議会

3月定例会

一般質問

一般質問は3月19日に行われ、通告のあった8人の議員から17問の質疑と当局による回答がありました。
本ページから9ページ上段まで、各議員の代表的な質問を一つ、登壇順に掲載しております。
また9ページ下段からその他の質問も掲載しました。是非お読みいただき、ご意見やご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| ①今後の町内アクセス道路の拡幅・道路整備は…………… | 岡山 富男 議員 |
| ②待機者をかかえる特別養護老人ホームの改善と今後の対応について…………… | 蔵口嘉寿男 議員 |
| ③須恵地先町有地の有効利用について…… | 大橋 弘 議員 |
| ④「全国町村長大会」の決議について…… | 山添 勝之 議員 |
| ⑤今後の介護予防事業の取り組みについて | 貴多 正幸 議員 |
| ⑥農産物のブランド化の取り組みについて | 小森 重剛 議員 |
| ⑦竜王町松陽台地区・地区計画について… | 図司 重夫 議員 |
| ⑧住宅リフォーム助成の制度化を…………… | 若井 敏子 議員 |

問

町内の道路整備を少しずつ進められていますが、竜王町を活性化していくには道路アクセスの整備が大切ではないかと考えます。

平成22年夏頃にはアウトレットモールが開業になり、インター周辺・町内の道路が渋滞予想され住民さんに不安を与えていると思います。また竜王インターに降りようとしても本線まで渋滞が考えられ、周辺企業の操業に影響がおこります。

町内の交差点改良・道路拡幅・竜王スマートインターチェンジの設置等の道路対策を講じるためどのように考えておられるか伺う。

答

竜王インター周辺においては、大



今後の町内アクセス道路の拡幅・道路整備は

岡山 富男 議員

〔答〕道路整備検討協議会を立ち上げて、検討します

型商業施設の進出に伴い交通渋滞についての対応策が検討され、より安心できる交通体系を確保するため、予測し得ない状況が発生することも想定して、実行可能な交通改良計画についての検討を進めています。道路交通体系基盤調査に着手いたします中で現在の竜王インター付近の渋滞解消、竜王インターの機能強化、国道477号の車線拡幅、岡屋交差点付近の交差点改良等、町内の道路交通網などについて総合的に検討する機関として、国、県、町、商工会、町内事業者、学識経験者などによる、(仮称)竜王インターチェンジ関連道路整備検討協議会の立ち上げの準備を進めているところであります。



竜王インター周辺の道路対策



待機者をかかえる特別養護老人ホームの改善と今後の対応について

蔵口 嘉寿男 議員

〔答〕施設設備の必要性を検討します

問

特別養護老人ホーム万葉の里、

およびケアセンター蒲生野においては施設入所を希望される待機者が多くおられ、介護をされている方にとっては家族の生計状態や勤めの関係で一日でも早い入所を願っておられる。

入所を希望される待機者をなくし、行き届いた介護を保障する施策を、今後どのように展開されようとしているのか伺う。

答

ホームは、県下の保健福祉圏域単位に、入所希望者の状況や地域密着型介護老人福祉施設、居宅サービス等の適正配置、介護保険施設ごとのバランスを考慮し、県の介護保険事業支援計画により

定められます。

童王町においては、特に軽度のうちから認知症への対応をしていくことが効果があると考えており、地域密着型のサービスを中心に整備していきたいと考えています。

私たちは、入所施設の大規模な整備の必要性は考えていますが、この間に団塊の世代が高齢期を迎える平成27年を見据え、他の介護保険サービスとのバランス

スを図りつつ、施設サービスの適正な供給量を検証し、施設整備の必要性を検討していきたいと考えています。

問

須恵地先町有地7651㎡について

では童王西小学校の敷地と同時に払い下げを受けたい土地であります。

以来20年が経過する今日何ら活用することなく、年2回の粗大ゴミ集積場として利用しているだけであります。

インター周辺では大型商業施設の開発が進められており、当町有地周辺には企業も進出していきます。

国道477号に面した一等地をこのまま放置しておくのはもったいないことであります。

インターを活用した童王西地区の開発が期待されています。この町有地の有効利用について伺う。

答

当該土地は「町の普通財産」として位置づけています。土地利用については市街化調整区域であり、開発は一定の制限があるエリアとなっております。

現時点での利用方針としては、今後の財政運営やたくましくまちづくりに対応すべく、財源確保につなげていける財産活用や財産処分が基本的な考えであります。

現在、具体的な動きには至っていませんが、インター周辺や既存



粗大ゴミの集積場だけではもったいない！！

須恵地先町有地の有効利用について

大橋 弘 議員

〔答〕研究検討します

の大規模工場も含めた大きなプロジェクトの進行があります。これらを補完する関連産業・事業の誘導も大切であります。町は、更なる研究・検討を深め有効な方法を見いだし進めて参ります。



「全国町村長大会」の 決議について

山添 勝之 議員

【答】道州制には反対です

問

「強制合併に繋がる道州制には断固反対である。」との特別議案が、満場一致で採決されたそうだが、これ程迄に大きな問題を999もの町村長が一人の反対者も無く採決されたとは到底考えられない。現場に同席されておられたときの真相はどうか。町長の道州制に対する考えをお尋ねします。

答

採決については、大会当日に特別な議論が交わされたのでは無く、会長の挨拶や意見発表の趣旨を踏まえる中で投票に依るのではなく、拍手をもつての採決であり、100%的を得たものであるのかは、課題の残るところです。

道州制については現在



全国町村長大会

のところ実現性は乏しく、たとえ導入されても地域間格差は解消されず逆にむしろ新たな、中央集権体制を生み出すことになる

ります。県が無くなり権限ばかり増え、その負担が大きくなるばかりの道州制には反対です。

問

介護予防事業を充実させることにより、介護保険の認定者数の軽減を図り、介護給付費を抑制させることも重要ではないかと考えるが、介護給付費の抑制に繋がる介護予防事業の具体的な取り組み計画について伺う。

答

地域包括支援センターを中心に二次予防の充実を考えており、一つ目には、介護状態になる前の対象者に対して、その方の生活機能の低下の部分に合わせて、週に2回の運動教室を24回実施したり、飲み込みなどの口腔機能の向上を目的に月に2回、3ヶ月間口腔機能教室を行います。

二つ目には、歩行機能



今後の介護予防事業の 取り組みについて

貴多 正幸 議員

【答】高齢者の健康づくりを支援します

の低下など身体的な状況や近所の友人がおられなくなるなど社会的な状況から外出機会が減っている後期高齢者を対象に週1回、6ヶ月間に運動や認知症、口腔機能向上のメニューを加えながら閉じこもり予防教室を実施する予定

と考えております。三つの予防取り組みを充実させることにより、介護給付費の抑制はもとより、高齢者の方がいつまでも住みなれた地域で暮らし続けられるよう支援してまいりたいと考えております。

でござい

ます。

また、

三つ目と

して、こ

れらの教

室に参加

できない

方には個

別に保健

師が訪問

して支援

をしてま



おたっしや教室に参加していつまでも元気で！

農産物のブランド化の 取り組みについて

小森 重剛 議員

【答】創意工夫を凝らし付加価値を付けた
特産品づくりに取り組みます



問 輸入農産物の残留農薬や食品の偽装表示など食品の安全性への信頼が損なわれる事例が多く見られる一方で、消費者の「食」に対するニーズは益々多様化しており、農産物の生産、流通及び消費それぞれの段階において、食の安全を確保する必要があります。

組みを進めてこられたのか、お伺いします。

答 環境こだわり農産物認証制度に基づき、指定された肥料、農薬を使い基準以上の施肥や防除を行わない農産物として、水稻はじめとし26品目に取り組んでいただいております。

特に竜王ブランドとしては、竜王町稲作経営者研究会が平成6年産からオール有機肥料、減農薬栽培による「竜の舞」の生産をはじめられ、道の駅での販売をはじめとし学校給食にも米飯給食にも提供をいただいております。

そのほか、「竜王そば」「果樹（ブドウ）」などを環境こだわり

これまで、環境こだわりの農産物の取り組みに向け竜王町において、生産、流通及び販売面で生産者とともにどのような取り

農産物ブランドとして取り組みを行っております。

今後は、引き続きJ A、県など関係機関の指導、協力を願い支援させていただきます。

さらに、町長が提唱されている「土産土法」の取り組みの中で、竜王ならではの創意工夫を凝らし、付加価値を付けた特産品の開発・販売を促進します。また、農業者団体、商工団体を含めた方々による、竜王農産ブランドの生産、流通および販売拡大に向けた研究検討を実施して行きます。



こだわり農産物
「竜王そば」

松陽台地区・IBMグラウンドの 跡地整備について

岡司 重夫 議員

【答】地区計画について県と事前協議中です



問 松陽台地区のほぼ中央に位置する日本IBMの福利厚生施設（面積5ha）は、現在放置されたままになって

いますが、地区計画を策定中との事であり、進捗状況及び今後の予定について伺う。

また、この地区内に広場、公園、集会所等の施設が計画されているのか、現在のグラウンドの雑草管理はどうなっているのか伺う。

答 本地区は、竜王町都市計画マスタープランの中で、既存の1戸建て住宅地と一体化した専用住宅地として位置付けしております。

昨年8月から本年2月にかけて3回にわたり地元松陽台、鏡の自治会役

員さんへの説明会を開催しました。

現在、計画内容について県と協議中で、公告縦覧、知事同意等を経て、地区計画決定、告示となります。

広場、公園、集会所等は、地元協議をふまえて

開発事業者が要望内容の整理を行い、土地利用計画へ反映することになって

います。

雑草管理については、IBMに確認したところ会社として年2回の



住宅団地となるIBMグラウンド跡地



住宅リフォーム助成の 制度化を

答 検討します

若井 敏子 議員

問

彦根市では昨年12月に200万円の予算で住宅リフォーム助成制度が始まったが申し込みが142件も殺到。今年は2000万円の予算を計上された。

日野町でも年度当初に300万円の予算を組まれ年度途中に急増額された。この制度は住宅の改修をしようとする住民に対して、工事費の5%、上限10万円（10%、20万円という自治体もある）の助成で、行政が負担している額の20倍以上の経済効果があると言われている。

施工業者を町内に限定すれば町内の業者に対する不況打開策、地域の経済対策になり、また高齢者住宅の改造にも適用す

れば、福祉対策ともなる。

この事業は関係者双方から大変喜ばれている。竜王町でも是非とも実施していただきたい。

答

県内では彦根市や日野町などで実施されています。彦根市では厳しい経済状況の中にあつて、

地域経済の活性化、雇用の安定に寄与する緊急経済対策として制度の導入を図られました。日野町では平成17年度から実施されていて、日野町指定の商品券で助成されています。竜王町では今後町内事業所の経営状況の把握を踏まえ検討します。



住宅リフォーム中のN宅

こんな質問も しました



問

ダイハツ工業(株) 滋賀工場は操業以来、地域の雇用を含め産業振興に大きく貢献している。

未曾有の不況の中、企業は厳しい経営が続いている。

町民がダイハツの車を購入した時に町が一定の助成措置を講じる施策について町長の所見を伺う。

蔵口 嘉寿男議員

答

ダイハツ工業(株) 滋賀工場が永続的に操業を続けられ、町の発展ならびに関連企業を含めた雇用の確保と地域経済を守るため、こうした時期に対応できる施策を検討してまいります。

町としては河川管理者に要望活動が続ける一方、地域ボランティアとの組み合わせも検討して参ります。

問

日野川・祖父川堤防の竹本草の伐採について伺う。

答

大橋 弘議員 老朽護岸の修繕や維持管理も必要で、限られた予算の中



竹が生い茂る日野川

問

最近挨拶する職員が少ない。挨拶の重要性、必需性について今更倫理学教育が必要なのか。

答

山添 勝之議員
町民憲章を唱和することにより、挨拶の重要性を認識し啓発しています。

問

外からは見難い場所に喫煙所があるが就業中か休憩中かの人事管理はしっかり出来ているのか。

答

山添 勝之議員
多様化、複雑化する業務の中で効率的職務遂行には、ひと



屋外喫煙所

の目は立っておらず、残地周辺にフェンスの設置と防草シートとの施行により、ゴミの不法投棄及び雑草対策の管理に努めております。2点目。
歩道と車道の分離機能の向上につきましては、平成21年度において歩車道境界ブロック

ときの清涼剤としての役割であり、コーナー整備については町民愛煙家の声を踏まえ検討します。

問

過去的一般質問において次の2件についてお伺いしましたが、その後の取り組みの進捗状況についてお伺いします。

- 1 「安古橋の架け替え改修に伴う旧県道敷地の残地管理」について
- 2 「県道綾戸東川線の道路整備について」

答

小森 重剛議員
1点目。
現時点では活用

の嵩上げを危険度の高い箇所から順次施行して行くとのことです。

また、抜本的な道路拡幅改良の実施については、要望活動が続けて行きます。

問

(仮称) 松陽台・安養寺線は道路幅が狭いため、朝の通勤・通学をはじめとして通行上、問題となっておりますが、その対策について伺う。

答

岡司 重夫議員
平成26年度篠原駅の新駅舎供用開始を目標として、篠原駅周辺整備事業が計画されていますが、この道路についても当然、竜王町からのアクセス道路として必要な路線として位置付けています。具体的には、ルート決定も含め篠原駅周辺整備事業の推移、I B M跡地の整備進捗状況を見極め、道路整備計画及びスケジュール等について検討する時期であると認識しています。

問

介護認定の状況を伺う。今年、認定の基準が変わるがその内容を伺う。

介護の必要な方がすべて掌握されているか、介護難民を作らない方策を伺う。

竜王町の取り組みでいいことは何か、近隣の取り組みで参考にしたいことは何か。

答

若井 敏子議員
認定審査会は一

認定制度は調査事務負担の軽減などのため見直されたものです。現在、町内老人福祉施設への入所待ちは33人で介護の必要な方の掌握は、地域包括支援センターでシステムの充実を図りながらすすめたい。
竜王町の誇れるものは『おたつしや教室』と認知症サポーター。近隣の取り組みでは、近江八幡市の運動機能低下予防サポーターの活躍を参考にしたいと思います。

問

竜王町の雇用の実態を伺う。私の元には違法な雇止めや雇用期間内でありながら給料が半分になるような配転をさせられたなど労働相談が後を絶たない。町としてどのような労働者の相談窓口を作って、親切で丁寧な対応をいただきたい。所見を伺う。

答

若井 敏子議員
雇用の実態について

いは町内の企業にアンケート調査をお願いしたが、全体を掌握できるものではなく、ハローワークによると竜王町内で常用雇用を求めている方は20人です。相談については産業振興課が総合窓口として対応します。

問

町内業者の経営の現状を伺う。多くの自治体は、制度融資に対する支援をしている。融資期間、据え置き期間の延長や保証料や金利の補助を町として実施して

答

若井 敏子議員
セーフティーネット保証は多くの事業者が利用されています。今後中小企業の経営発展のため、相談窓口の充実などを図り、保証料の補給などについては検討し、事業者への支援をしていきたい。

問

児童館は児童福祉法に基づく児童福祉施設で、子どもに健全な遊びを提供して、心身の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としている。地域との連携が大事にされる児童館を是非作っていただきたい。所見を伺う。

答

若井 敏子議員
滋賀県内には50の児童館があるが、竜王の地理的条件から考えるとやや不利に思えます。タウンセンターの整備に当たり、児童館という形でなくても子どもが交流できる場を作りたい。

各委員会報告

総務産業建設常任委員会

委員長 山田 義明

所管事務調査

2月16日と3月9日に次の事項について調査を行いました。

◎入札について

今年度の入札については企業努力により比較的安く落札しています。当町の入札は指名競争入札で一般競争入札は導入されていませんが、試験的には総合評価方式を導入しています。

国では「ふるさと雇用再生特別交付金」と「緊急雇用創出事業臨時特例交

◎緊急雇用対策について

付金」が予算化され、県にそれぞれ50億3000万円と32億1000万円が交付される。この基金を造成し21年度より3年間の事業とし、県及び町に於いて雇用対策が取組

まれます。



計量器付パッカー車

◎ゴミの減量化に つなぐ

今年度は計量器付のゴミ収集パッカー車で各ゴミステーションのゴミ量を基に、次年度予定の「ゴミ減量チャレンジ優良地区報奨実施計画

教育民生常任委員会

委員長 岡司 重夫

所管事務調査

1月27日、2月25日、3月10日、次の事項について調査しました。

◎武道交流会館整備の概況について

まちづくり交付金関連事業の一つで、平成24年度からの学習指導要領への武道導入に対応する施設整備であり、スポーツクラブ及び地域住民のスポーツ活動や合宿利用に

も対応します。

（案）の取組について説明を受けました。

◎「湖南水道広域圏に係る広域的水道整備計画」を策定することに

つき滋賀県知事へ要請することについて

現行計画の見直しを行い、改めて滋賀県知事に広域計画を策定されるよう関係市町村と共同で県知事に要請することに議会の同意を求めたもので

トイレの配置について、スポーツ団体、利用者等の意見を集約して反映されたい。

◎第4期竜王町高齢者保険福祉計画について

国による医療保険制度改革により高齢者医療制度の見直し、特定健診、特定保健指導の再編が進められる一方、介護サービス事業者の不足、人材離れなどが課題となっています。

本計画は、これからの状況に対応するため平成18年3月に策定された「竜王町高齢者保健福祉計画」を見直すもので、今後の高齢者保健・福祉・介護施策の方向性を明らかにし、地域と行政が共同で事業を円滑に実施していくための指針を示すものです。

計画期間は平成21年度から23年度までの3年間で、23年度に評価、検証を実施し、見直しを行います。

◎竜王町立幼稚園での預かり保育の試行に伴う進捗状況について

子育て支援事業の一つで、4歳児、5歳児を対象に保育終了時間より午後4時までで、保育料は1ヶ月4200円です。

昨年12月8日に全保護者に対して説明会を開催し、本年4月より試行されます。保育希望者は竜王幼稚園41名（2クラス）、竜王西幼稚園17名（1クラス）です。

◎平成19年度教育委員会事務事業成果報告書の提出について

平成18年12月に教育基本法が改正されたことを受け、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で、教育委員会が自らの活動状況について点検、評価を行い、毎年12月もしくは3月に議会に報告することになったものです。

教育の評価を数値で示すことは難しく「成果」と「課題」を文書で表記しています。

合併調査特別委員会

委員長 蔵口 嘉寿男

去る、2月23日に竹山町長、担当者の出席を求め委員会を開催しました。



地域創造まちづくりフォーラム

ないこと、今後においては合併議論が続けて、竜王町にとって有効な方向を見極めていきたいとの説明をして、参加者の意見を聞いた。

全般的にこれに対する大きな反対の意見は出なかった。また、全体を通しての意見で見ると、財政と合併が結びついた意見が多く出された。以上の説明を受けました。

◎地域創造まちづくり懇談会における市町合併にかける意見集約について

懇談会を全自治区で開催し、合併に関して72件の意見が出された。懇談会では、合併するなら広域合併の方向ではないかと考えていること、安土町より呼びかけられた「竜王町・近江八幡市・安土町」の1市2町の合併に竜王町は参加し

地域創生まちづくり特別委員会

委員長 山添 勝之

ちづくりフォーラムでの市町合併の基本方向が示されたことや、国においては、総務省および地方制度調査会が、合併推進の方針を打ち切るとの動

きもあり、第14期の本委員会の審議を集約して行こうとの議論が出され、次期定例会において審議集約を確認しました。

本委員会は去る2月26日と3月18日の両日、次の事項について調査しました。

◎IBM跡地開発について

地区計画の導入で民間による住宅開発の実現が一步前進しました。

約5haの敷地に156区画の計画が見込まれ一区画200㎡以上です。

外周道路6.5m、主要街道路6.0mで大きな調整池を整え南北に2か所の公園の予定です。一戸建てが主で集合住宅やアパートの計画はありません。

主な質疑応答は

問 道路アクセスはどうなっているのか。



国道477号拡幅工事

答 国道477号への接続は近江八幡市に協力を求めています。

◎交通対策について

アウトレットモール開発に拘わる国道477号の交通渋滞緩和のための拡幅工事や、施設内道路工事が平成21年3月中旬より平成22年夏ごろの開業に向けて行われます。

「竜王インターチェンジ関連道路整備検討協議会」を立ち上げ、竜王町における道路交通について、全般に亘り交通渋滞や産業振興、CO₂削減等に対する協議、対策を早急に進めるため4月から活動します。

主な質疑応答は

問 検討協議会のメンバーは。

答 有識者、関係行政機関職員、経済団体等 総勢16名程度です。

◎「雪国みたいだけ」について

現在のところ特に進展はありません。

平成22年3月末に農工法の期限切れとなるので再延長が必要です。

主な意見として

竜王町がインシアティブを取って、元地権者の理解を得られるよう、「雪国みたいだけ」に対し強い姿勢で推し進め、早急に解決されたい。

議会広報特別委員会報告

委員長 貴多 正幸

本委員会は、平成21年第4回定例会閉会後の1月9日、1月15日に委員1名欠席、1月23日に委員全員出席のもと委員会を開催し、2月1日に議会議決より146号を発行しました。

また、平成21年第1回定例会開会中の3月5日

に委員全員出席のもと、議会議決より147号の編集会議を開催し、ページごとの役割分担、文字数等について検討しました。今後委員それぞれが協力しながら、町民に親しまれる、わかりやすい議会議決よりの発行に努めてまいります。

議会運営委員会報告

委員長 岡山 富男

本委員会は、1月27日、平成21年第1回臨時議会に提出される提案事件について説明を受けました。今回提案される案件は、一般会計・特別会計の補正予算2件の2議案であります。

2月18日、熊本県長洲

町議会議会運営委員会視察研修を受け入れしました。今日まで取り組んできた内容（議会報告会・夜間議会・有線放送によるライブ放送等）で意見交換・情報交換をしました。

2月26日、平成21年第

1回定例会に提出される提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、条例の制定及び一部改正13件、一般会計・特別会計の補正予算9件、新年度の一般会計・特別会計の予算9件、計31議案であります。

議会開会中の3月5日、追加議案として、滋賀県市町土地開発公社定款の

変更につき議決を求めることについて説明を受け、議案の処理について審査決定しました。つづいて、一般質問17間について、それぞれ協議しました。また、夜間議会についても議論し、一般質問は、午後1時から開催し、夜間の部は午後6時から8人8問とするように決定しました。

3月24日、意見書「ヒ

ブワクチンの早期定期接種化と公的補助を求める意見書」について協議しました。

また、5月21日（木）23日（土）の間、いずれも19時30分～21時30分まで、6会場で議会報告会を開催することを決めました。



編集後記

我が国経済は、戦後最悪とも言うべき深刻な不況に直面しており、景気回復に向けた経済対策が緊急の課題であるとされています。

竜王町においても、今日の景気悪化を背景にした大幅な税収の減少により、歳入全体として前年度並みの財源が確保できないなど、財政状況の急激な悪化が見込まれる中、平成21年度の予算が提案されました。

「未来に羽ばたく夢と安らぎのあるまちづくり」を推進するために、6つの柱を基本項目として住民本位の施策を具体化させる予算であるとしています。

我々議員としては、厳しい財政状況の中での予算執行が、住民へのサービス低下に繋がらないよう、安全で安心して生活ができるまちづくりに向け、住民皆様の目線に立つて行政の見張り番として、意見を発してまいります。

今後も、期待される議会として努力してまいりますので、町民皆様方より一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

小森 記

議会広報特別委員会

委員長	貴多 正幸
副委員長	大橋 弘
委員	岡山 富男
	山添 勝之
	岡司 重夫
	小森 重剛

議会傍聴記

岡田 勝巳

ある人を通じて町議会の傍聴記を書いて欲しいと言われ、何回か傍聴して感じたことを書かせてもらうことにしました。

今までは仕事に追われて、町政について気にしていてもなかなか機会がありませんでした。やっと最近にな

って、議会や委員会などできる限り傍聴をして、普段の生活では知ることの出来ない色々な情報に触れたいという思いで何回か傍聴しました。確かに我々の知らなかったところで、様々なことがなされていたことを知り、「目から鱗」の思いをしました。

最初は、「形式張って回りくどいことを」という印象でしたが、「民主主義は手続きが大事」と言われて、「そういうもんか」と納得もし、「町

の全てが議会で決められている」ことを知ることが出来ました。

しかし、本会議で見える限り、議案審議の時に、一議員さん以外は殆ど質問をしない状況を見て、竜王町議会が住民の多くの意見・考えを代弁し、行政をチェックしているとは考えられない感じを受けました。

一般質問は議員さんが政策を述べて活躍できる、また竜王町の将来を方向付ける最大の機会と聞いていますが、アイディア

提案程度で政策を含んだ質問が聞けませんでした。もっと驚いたのは、担当者に聞けばすぐ答えがもらえるようなことまで本会議で聞く様子と、質問者全員が再質問、再々質問をし、それに対して答弁者が原稿を読んで回答していることでした。

せっかく住民が傍聴しやすいように時間をずらしてまで開催している。一般質問“が熱意のないシヨウのようでした。このようなことでは竜王町の発展はないと思

います。是非改めて頂きたいと思います。今、世界中が不況の中で大変な時期だけに、政治の善し悪しがこれからの町民の生活に大きく影響すると思いますが、結果は10年後に現れます。住民の期待に応えて、町の将来を自らの政策によってつくっていく意気込みを議員の皆さんに望む次第です。

年寄り？の愚痴としてお聞き頂ければいい、投稿しました。